

## はじめに

平成28年度筑波大学大学院図書館情報メディア研究科図書館情報メディア専攻博士前期課程修了生の修士学位論文抄録集を刊行いたしました。本抄録集には研究科の多様で先端的な研究の成果が集結しています。研究科長として、論文完成に至るまでの大学院生各位の努力を讃えるとともに、指導教員、副指導教員や論文審査委員を始めとする論文作成に関わられた教員各位および学生の研究活動を支えられた支援室職員の方々に感謝申し上げます。

図書館情報メディア研究科は、「情報メディアによる社会の知識共有とその仕組みに係る研究を発展させ、新しい時代に向かって社会をリードできる人材を養成すること」を使命としてかかげ、社会における知識・情報の共有や、その仕組みとしての図書館や情報ネットワークを対象にした、人文学、社会科学、理工学等の多様なアプローチに基づく学際的な教育研究を行っています。そのような多面性を実現し、かつ大学院教育の実質化を推進するという観点から、本研究科博士前期課程では、修士（情報学）と修士（図書館情報学）の2つの学位に対応した教育プログラムを提供しています。今年度は、こうした教育課程で学んだ大学院生51名（うち修士（情報学）32名、修士（図書館情報学）19名）が修士の学位を取得できました。

博士前期課程修了生は、公的機関や企業等で図書館情報メディアに係る専門家として実務に携わるもの、将来この領域の先駆的な研究者になるべく博士後期課程に進学するものなどさまざまです。どのような職であれ、修了生各位が本研究科で学んだことや修士論文を完成させるまでの研究生活の中で得た知見を活かし、知識情報社会のフロンティアとして活躍されることを、教職員一同、心から期待しています。

平成29年3月

図書館情報メディア研究科長 溝上智恵子

## 目 次

《 修士（図書館情報学） 》

寛 長 萌	アイデア生成における情報探索行動の特徴分析……………	1
菊 池 隼 士	オープンコースウェアの意義と現状……………	2
久 保 田 正 啓	日本の公共図書館の館外におけるアウトリーチ・サービスの進展……………	3
小 山 侑 子	高等学校図書館における学校司書の役割と支援：神奈川県を事例として……………	4
佐 藤 優	学校図書館の「場」としての役割……………	5
島 田 貴 司	大学図書館におけるメディア・リテラシー育成のための映像制作プログラムの開発と評価……………	6
高 山 有 希	公共図書館における愛着評価と地域性を考慮した図書館建築の関連……………	7
田 中 僚	ロボットファシリテーターによる議論進行の試み……………	8
徳 安 由 希	公共図書館における行政支援サービスの構築過程……………	9
中 尾 彩	大学生のメディア利用が QOL(Quality of Life)に及ぼす影響……………	10
西 川 開	ミュージアムにおけるパブリックドメイン作品の公開に関する調査研究：デジタルアーカイブを事例として……………	11
松 山 麻 珠	表示媒体の違いと読書の諸要素が誤りを探す読みに与える影響 —光環境とインタラクションに着目して—……………	12
吉 田 貴 紀	写真の著作物の保護範囲 —異なる表現形式での利用における侵害の成否を中心に—……………	13

劉 倩 秀	Measuring the Importance of User Education in Academic Libraries from Students' Perspective: A Comparative Study among the University of Tsukuba, Fudan University and the National Taiwan Normal University .....	14
高橋 麻紗子	大学生におけるキャリア教育プログラムの開発・検討 .....	15
能勢 ゆかり	刑務所図書館サービスの理念と制度：アメリカおよびイギリスに焦点をあてて .....	16
山 本 藍 子	オーストラリアの図書館・公文書館における先住民文化保護活動 .....	17
Chiranthi Jayampathini Wijesundara	Enhancing Accessibility to Heterogeneous Sri Lankan Cultural Heritage Information across Museums through Metadata Aggregation .....	18
Siti Kamaliah Mohammed Yusoff	Study on the Characteristics of Effective Information Literacy Programs for High School Students in Japan .....	19
《 修士 (情報学) 》		
狩 野 直 哉	タッピングゲームと Beat Alignment Test を用いた聴覚障害者の音楽リズム認知に関する研究 .....	20
久保田 豊久	トピックモデルによる話題知識を考慮したテンプレート穴埋め型発話生成 .....	21
熊 田 和 大	リアルタイム破壊シミュレーションにおける表現の改良 .....	22
崎 野 峻 光	ドラムアンサンブルにおける視聴覚情報及び即興演奏の影響 ～情動と演奏タイミング・リズムパターンに着目して～ .....	23
志 賀 奏 介	共同作業中の対話に潜在する情報ニーズの類型化 .....	24

鈴木 清 貴	メタデータを利用したコンテンツ集約に基づくデジタルアーカイブのアクセス支援手法の開発 ……………	25
鈴木 啓 史	KCing : セレンディピティを実現する図書推薦システム ……………	26
清 野 悠 希	姿勢計測による e-learning 受講者の集中度分析に関する研究 ……………	27
武 田 春 輝	マンガの内容理解支援を目的とした LOD 指向の関連情報閲覧システム	28
田 中 千 尋	ソーシャルメディアの投稿状況に基づくイベント参加動向の推定に関する研究 ……………	29
柘 植 大	SNS におけるネットワーク成長に基づくユーザプロファイリング手法に関する研究 ……………	30
土 屋 俊 貴	ライブ配信における複数地点同期再生方式の提案と評価 ……………	31
中 山 雄 貴	笑顔可聴化システムを用いた弱視者による他者の表情認識支援 ……………	32
根本 千代之介	分類マイクロタスクにおけるタスク順序制御に関する研究 ……………	33
林 亮 太	マイクロタスク設計支援のためのユーザフィードバックの収集・選択手法 ……………	34
平 田 章	マイクロタスク型クラウドソーシングによるコンテンツ生成の研究 ……	35
古 澤 智 裕	レファレンス質問の回答提示方法に対する選好意識の解明 ……………	36
星 川 祐 人	チャット対話におけるユーザ間の関係性抽出に関する研究 ……………	37
岑 村 春 香	進化への自発的な発見を促すリアルタイム骨格比較ツールの開発 ……………	38

于 睿 政	第二言語話者を含む会話における音声・文字メディア併用の効果……………	39
YAN JIANAN	Linked Data クエリ構築支援のための日本語文に基づくグラフ構造の生成……………	40
WANG ZHIHUA	部分グラフ同型問題を解くための外部記憶アルゴリズム……………	41
H A N J I A	ノード間の通信可能時間に基づく DTN 性能向上方式の研究……………	42
喬 丹	拡張現実感を用いた江戸文化を伝えるストリートミュージアムの研究…	43
吳 揚	An Algorithm for Detecting and Correcting XSLT Rules Affected by Schema Updates……………	44
Jesse Chiula Samacuva Ulundo	Impact of Event Recommendation Systems in User's Decision Making……………	45
ZHU YATING	木分割アルゴリズムを用いた XSLT 実行手法……………	46
宋 曦 媚	検索意図を考慮したナビゲーション支援システムに関する研究……………	47
CAO CHONG	日本語曲を原曲とする中国語カバー曲における歌詞の押韻率と意味合致度の分析……………	48
TEBOURBI MERIEM	Information Seeking Behaviour of International and Domestic Students: A Comparative Study……………	49
柳 延 浩	位置ベース法を用いた凧シミュレータの開発……………	50
金 澤 徹	カバー曲の比較研究：聴取者が受ける印象の違いの分析……………	51